

歳出の内容

次に、歳出の決算内容を見てみましょう（【表4】【グラフ3】参照）。

総務費では、西いぶり広域連合（西胆振3市1町）で実施する共同電算システムの構築・運用に係る経費を負担したほか、北海道洞爺湖サミットの開催に伴う来訪者の受け入れ態勢の整備や戸籍のシステム化などを行いました。

民生費では、生活保護費の支給や医療費の助成を引き続き行うとともに、平成20年度から始まった後期高齢者医療制度に係る療養給付費を負担したほか、国の追加経済対策として第2次補正予算に盛り込まれた子育て応援特別手当の一部を支給しました。

また、市営住宅（鷺別東団地）の解体に伴い、老人憩の家共和国の建て替えを行うとともに、鷺別小学校の空き教室を活用し、鷺別児童クラブを開設しました。

衛生費では、健康増進事業として各種がん検診や健康教室・健康相談などを実施したほか、クリンクルセクターのプラント監視制御システム更新やし尿投入施設建設に係る経費の一般財源分を公共下水道事業特別会計に支出しました。

商工費では、登別観光協会に対し登別温泉開湯150年記念事業に係る経費を補助したほか、温泉バイパス整備に伴い新設された泉源公園の駐車場や緑地などを整備しました。

また、国の追加経済対策による定額給付金の一部を支給しました。土木費では、道路の新設・改良事業や亀田記念公園整備事業、キウシ

ト湿原緑地保全事業を引き続き実施したほか、市営住宅（鷺別東団地・幌別団地）を解体するとともに、既存の市営住宅に火災警報器を設置しました。

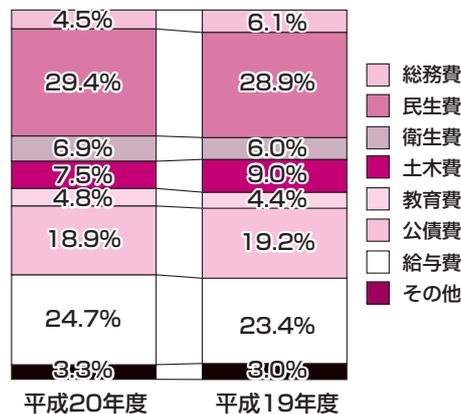
消防費では、後年度の消防施設や消防関係車両などの整備に伴う財政負担の軽減を図るため、北海道から交付される石油貯蔵施設立地対策等交付金を基金に積み立てたほか、老朽化した鷺別支署の暖房設備を改修しました。

教育費では、不登校やいじめ、問題行動などへの対応として平成19年度に引き続きスクールカウンセラーや心の教室相談員、教育指導専門員を配置したほか、小学校や市立図書館の便所を洋式化するとともに、市民会館の暖房・給湯用ボイラーの取り換えや非常用階段の改修などを行いました。

【表4】平成20年度一般会計決算の歳出内訳（前年度比較）

| 費目  | 平成20年度  | 平成19年度  | 増      | 減 |
|-----|---------|---------|--------|---|
| 総務費 | 8.0億円   | 11.4億円  | △3.4億円 |   |
| 民生費 | 52.2億円  | 54.0億円  | △1.8億円 |   |
| 衛生費 | 12.2億円  | 11.1億円  | 1.1億円  |   |
| 商工費 | 2.2億円   | 1.9億円   | 0.3億円  |   |
| 土木費 | 13.4億円  | 16.9億円  | △3.5億円 |   |
| 消防費 | 0.8億円   | 1.0億円   | △0.2億円 |   |
| 教育費 | 8.5億円   | 8.3億円   | 0.2億円  |   |
| 公債費 | 33.5億円  | 35.9億円  | △2.4億円 |   |
| 給与費 | 43.9億円  | 43.7億円  | 0.2億円  |   |
| その他 | 2.7億円   | 2.7億円   | 0.0億円  |   |
| 合計  | 177.3億円 | 186.9億円 | △9.5億円 |   |

【グラフ3】一般会計歳出決算全体に占める割合



財政用語解説 ③

【目的別歳出】

- 議会費：議会の活動に使われる費用。
- 総務費：全般的な管理事務、徴税、選挙などに要する費用。
- 民生費：市民の生活と社会生活の保障（社会福祉など）に使われる費用。
- 衛生費：病気の予防やごみの処理など、市民が健康で衛生的な生活を送るために使われる費用。
- 労働費：職業訓練の充実や失業対策などに使われる費用。
- 農林水産業費：農業、漁業、林業の振興に使われる費用。
- 商工費：商業や工業の振興、観光事業などに使われる費用。
- 土木費：道路、公園の整備や市営住宅の建設など都市基盤整備に使われる費用。
- 消防費：消火活動や救急救命などに使われる費用。
- 教育費：小・中学校の運営や建設、生涯学習、スポーツの振興など、教育のために使われる費用。
- 公債費：道路や学校などを造るために借り入れたお金の返済に充てる費用。
- 給与費：人件費などに要する費用。